

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10021

キャリアプログラムⅠ

Career program I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

1

講義

林 正樹・東郷 睦・花澤 徹

授業の概要	今までの自分自身のキャリアを振り返り、これからの専門学校生活（あるいは学生社員生活）における目標の設定や、具体的な計画の作成をします。「社会を知る」、「自己理解」、「就職試験への準備」などをトピックとして取り上げながら授業を進めてゆきます。
-------	--

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）	
1	ガイダンス〔2年間のキャリア教育の内容、理事長・学校長講話〕	西原・八木・林・東郷
2	社会を知る① 人生100年時代の働き方〔ライフワークバランス、働く・学ぶの繰り返し〕	林
3	A 就職を通して自分の将来についてのフリートーク〔自身の考え方を話し、他の学生の考え方を聞く〕	林
	B 公務員ガイダンス〔公務員の仕事、試験の概要、試験対策のための授業等〕	安藤
4	社会を知る②〔会社組織と雇用環境の変化、新型コロナによる影響〕 社会を知る②〔会社組織と雇用環境の変化、新型コロナによる影響〕	林
5	社会を知る③〔ライフプランに合わせた多様な働き方・雇用形態〕	林
6	社会を知る④〔働く上での基本的なルール・労働基準法の概要〕	林
7	就職活動の概要と向き合い方〔高卒就職との相違点、活動時期・選考・考え方〕	林
8	自己理解①〔過去の振り返り・人生すごろくゲーム活用〕	林
9	自己理解②〔自身の強み・弱み・就職に対する考えをまとめ〕	林
10	自己理解③〔自己PRの考え方〕〔他人と違う自分価値の理解・ポイント・例文比較検討〕	花澤
11	キャリアカルテ〔オリジナル〕の作成〔今までの内容をシートAへ記入〕	花澤
12	コミュニケーション能力の育成〔聞く力・話す力の重要性を喚起〕	花澤
13	文章能力の育成〔読む力・書く力の重要性を喚起〕	花澤
14	志望動機の考え方〔志望動機の記事構成・ポイント・例文比較検討〕	林
15	給与に関する税金の概要〔給与明細のしくみ、所得税・住民税の理解〕	林
16	社会保険の概要①〔健康保険・雇用保険〕〔制度しくみ、非正規社員との比較〕	林
17	社会保険の概要②〔労災保険・年金保険〕〔制度しくみ、非正規社員との比較〕	林
18	筆記試験対策①〔筆記試験の種類の説明・筆記試験の実習体験〕	花澤
19	筆記試験対策②〔自己学習への意識・動議付け、筆記試験の実習体験〕	花澤
20	前期試験・前期総括〔1年後期に向けて〕	林・東郷

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10022

キャリアプログラムⅡ

Career program II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

1

講義

林 正樹・東郷 睦・花澤 徹

授  
業  
の  
概  
要

就職活動の準備として、「自己PR」と「志望動機」を作成して、履歴書の完成を目指します。また、「業界研究」と「企業研究」を進めて、自分の志望する業界、業種、職種を幅広く検討します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）	
1	筆記試験対策③〔一般常識問題Ⅰ、ポイント・傾向〕	花澤
2	筆記試験対策④〔一般常識問題Ⅱ、実践問題の解答解説〕	花澤
3	筆記試験対策⑤〔時事教養問題、ポイント・傾向、実践問題の解答解説〕	花澤
4	就職用語の理解〔就職用語の説明、求人票の見方、先輩の就職活動〕	林
5	仕事を知る①〔販売職・営業職の仕事内容、やりがい、タイプ〕	林
6	仕事を知る②〔事務職・経理職の仕事内容、やりがい、タイプ〕	林
7	仕事を知る③〔サービス職・その他職種の仕事内容、やりがい、タイプ〕	林
8	応募書類の作成①〔履歴書・ESの書き方・実践〕	花澤
9	応募書類の作成②〔志望理由・自己PRの書き方・実践〕	花澤
10	就職サイトについて〔概要の説明、登録・活用方法〕	花澤
11	筆記試験対策⑥〔SPI3・言語系のポイント、傾向、自己学習への動機づけ〕	花澤
12	筆記試験対策⑦〔SPI3・非言語系の実践問題の解答解説〕	花澤
13	筆記試験対策⑧〔SPI3・非言語系の実践問題の解答解説〕	花澤
14	業界・企業研究①〔企業のHPを見る視点、関心ある企業の調べ学習〕	林
15	業界・企業研究②〔関心ある企業の調べ学習〕	林
16	業界・企業研究③〔関心ある企業の調べ学習〕	林
17	個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕	林・東郷・花澤
18	個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕	林・東郷・花澤
19	個人面接〔1回目〕シートAを参照しシートBへ記入〔希望職種・業界の方向性・学生の重視ポイント〕	林・東郷・花澤
20	後期試験・後期総括〔2年前期に向けて〕	林・東郷

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10023

キャリアプログラムⅢ

Career programⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

1

講義

林 正樹・東郷 睦・花澤 徹

授  
業  
の  
概  
要

就職活動の対策として、企業へのエントリー（資料請求）を実施して、エントリーシートの作成を行います。また面接試験の対策を実施して企業からの内定獲得を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）	
1	就職活動への準備①〔身だしなみ・準備物、理事長・学校長講話〕	西原・八木・林・東郷
2	就職活動への準備②〔企業への電話・メール・郵送等の対応〕	林
3	面接試験対策①〔面接の概要・就職試験の中での位置付けを理解〕	林
4	面接試験対策②〔オンライン型の注意点、デモ〕	花澤
5	面接試験対策③〔対面型の注意点、デモ〕	花澤
6	面接試験対策④〔Gワーク・Gディスカッションの注意点、実践〕	花澤
7	面接試験対策⑤〔Gワーク・Gディスカッションの実践〕	花澤
8	面接試験対策⑥〔個人面接実習〕	林・東郷・花澤
9	面接試験対策⑦〔個人面接実習・G面接実習〕	林・東郷・花澤
10	個人面接〔2回目〕シートCへ記入〔志望分野・企業候補の確定〕	林・東郷・花澤
11	個人面接〔2回目〕シートCへ記入〔志望分野・企業候補の確定〕	林・東郷・花澤
12	個人面接〔2回目〕シートCへ記入〔志望分野・企業候補の確定〕	林・東郷・花澤
13	個人面接〔3回目〕〔就活支援の方向性〕シートA・B・C参照	林・東郷・花澤
14	個人面接〔3回目〕〔就活支援の方向性〕シートA・B・C参照	林・東郷・花澤
15	就職活動実践〔サポート〕①〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
16	就職活動実践〔サポート〕②〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
17	就職活動実践〔サポート〕③〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
18	就職活動実践〔サポート〕④〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
19	就職活動実践〔サポート〕⑤〔応募書類の確認・面接練習〕	林・東郷・花澤
20	前期試験・前期総括〔2年後期へ向けて〕	林・東郷

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	必要に応じて、その都度指示を行う。
参考資料	必要に応じて、その都度指示を行う。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	20						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10011

コンピュータ実習Ⅰ

Computer training I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

1

実習

岩野 桂子

授  
業  
の  
概  
要

Microsoft Office Specialist(MOS)Wordに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Word) エキ  
スパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第1章 文書の作成と管理
2	第1章 文書の作成と管理
3	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
4	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
5	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
6	第2章 文字、段落、セクションの書式設定
7	第3章 表やリストの作成
8	第3章 表やリストの作成
9	第3章 表やリストの作成
10	第3章 表やリストの作成
11	第4章 参考資料の作成と管理
12	第4章 参考資料の作成と管理
13	模擬試験 第1回
14	模擬試験 第2回
15	模擬試験 第3回
16	模擬試験 第4回
17	模擬試験 第5回
18	総まとめ
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Word 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050055
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<u>大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。</u>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10012

コンピュータ実習Ⅱ

Computer training II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

1

実習

岩野 桂子

授  
業  
の  
概  
要

Microsoft Office Specialist(MOS)Excelに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Excel) エキスパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第1章 ワークシートやブックの作成と管理
2	第1章 ワークシートやブックの作成と管理
3	第2章 セルやセル範囲のデータの管理
4	第2章 セルやセル範囲のデータの管理
5	第2章 セルやセル範囲のデータの管理
6	第3章 テーブルの作成
7	第3章 テーブルの作成
8	第4章 数式や関数を使用した演算の実行
9	第4章 数式や関数を使用した演算の実行
10	第4章 数式や関数を使用した演算の実行
11	第5章 グラフやオブジェクトの作成
12	第5章 グラフやオブジェクトの作成
13	模擬試験 第1回
14	模擬試験 第2回
15	模擬試験 第3回
16	模擬試験 第4回
17	模擬試験 第5回
18	総まとめ
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10013

IT基礎

IT Basic

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

前

1

1

実習

岩野 桂子

授  
業  
の  
概  
要

ICTリテラシーの学習を中心に、情報化社会の倫理規定を学習します。特に情報を扱う上で重要な法律や条例、施行細則などに基づいた実務的な内容を課題として取り組みます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	授業の進め方、課題などの説明、ICTリテラシーについて
2	ICTリテラシー①
3	ICTリテラシー②
4	ICTリテラシー③
5	ICTリテラシー④
6	ICTリテラシー⑤
7	課題学習
8	発表会
9	単位認定試験 総まとめ
10	単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	課題に取り組む。学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	P検3級テキスト（P検合格シリーズ） ISBN-13：978-4990646530
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	10						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10014

情報処理Ⅰ

Information processingⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

1

実習

岩野 桂子

授  
業  
の  
概  
要

小学校・中学校を通じて学習してきた情報系の学習内容（プログラミング学習など）の集大成として、主に実務上必要不可欠なプログラミング学習を行います。苦手な学生に対しては今までの総復習として対応します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	授業の進め方、課題などの説明、プログラミングについて
2	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
3	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
4	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
5	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
6	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
7	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
8	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
9	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
10	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
11	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
12	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
13	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
14	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
15	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
16	プログラミング実習Ⅰ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
17	発表会
18	発表会
19	単位認定試験 総まとめ
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし。
参考資料	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	10						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10015

情報処理Ⅱ

Information processing Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

1

1

実習

岩野 桂子

授  
業  
の  
概  
要

小学校・中学校を通じて学習してきた情報系の学習内容（プログラミング学習など）の集大成として、主に実務上必要不可欠なプログラミング学習を行います。苦手な学生に対しては今までの総復習として対応します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	授業の進め方、課題などの説明、プログラミングについて
2	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
3	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
4	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
5	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
6	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
7	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
8	プログラミング実習Ⅱ（各回ごとに設定される課題に対して、個人・グループ別に取り組む）
9	発表会
10	単位認定試験 総まとめ
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし。
参考資料	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	10						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<u>大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。</u>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10071

英語 I

English I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

前

2

1

講義

金 薫好

授  
業  
の  
概  
要

「英語Ⅱ・Ⅲ」の導入編として、英語圏の外国人とのコミュニケーション能力として必要不可欠な英語（一般的英会話）能力を習得します。ここでは、まちかどので必要になる接客の基本的な英会話を学習して、まちかどで海外のお客さまに対応できるコミュニケーション能力を身につけます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ガイダンス及び英語基礎力確認模試
2	おもてなし英会話1：【案内業務】売り場の場所や営業時間の案内
3	おもてなし英会話2：【受付業務】病院などでの受付対応
4	おもてなし英会話3：【会計案内】金額提示や支払い方法を案内
5	おもてなし英会話4：【商品案内】売り場で商品の有無や特徴を表現できる
6	おもてなし英会話5：【飲食店】注文を受ける、席の予約を受ける
7	おもてなし英会話6：【まちかど1】写真撮影の浦井を受ける
8	おもてなし英会話7：【まちかど2】観光名所を案内する
9	おもてなし英会話8：【まちかど3】有名人にサインをもらう
10	おもてなし英会話9：【トラブルシューティング】落とし物を探す
11	おもてなし英会話10：【トラブルシューティング】けが人の対応
12	おもてなし英会話11：【トラブルシューティング】クレーム処理
13	おもてなし英会話12：【トラブルシューティング4】注文の確認、商品の返品対応
14	おもてなし英会話13：【スピーキングテスト対策】地図を見て案内をする
15	おもてなし英会話14：【スピーキングテスト対策】イベントの案内をする
16	おもてなし英会話15：【スピーキングテスト対策】免税について
17	丁寧な英語表現1及びリスニング強化
18	丁寧な英語表現2及びリスニング強化
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック、総復習
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	指定された学習範囲を予習する（単語、語彙、文法、発音他）
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習範囲を復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「聞く」「話す」を徹底強化！接客英会話ワークブック基礎編（カシオ）英語対応能力検定準拠
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	公益財団法人日本国際連合協会勤務。長年にわたり、語学関連の業務を担当し、年間を通じて出張による海外渡航多数あり。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10072

英語Ⅱ

English II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

2

前

2

1

講義

金 薫好

授業  
の  
概  
要

英語Ⅰの実践として前半はスピーキングとリスニングを実践的に鍛えます。後半は英語基礎力の要請としてTOEIC対策（目標470点）の学習をします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	丁寧な英語表現1及びリスニング強化
2	丁寧な英語表現2及びリスニング強化
3	丁寧な英語表現3及びリスニング強化
4	丁寧な英語表現64及びリスニング強化
5	丁寧な英語表現5及びリスニング強化
6	Lesson1、Lesson2：写真描写問題と応答問題のコツ
7	Lesson3、Lesson4：質問と応答の選び方
8	Lesson5、Lesson6：動作、状態、キーワードから正しい答えを見抜く
9	Lesson7、Lesson8：品詞、進行形、過去形の復習
10	Lesson9、Lesson10：英語の音声変化と典型的な設問の流れを覚える
11	Lesson11、Lesson12：Part7の典型的な文書形式に慣れる
12	Lesson13、Lesson14：代名詞と形容詞節の注意点
13	Lesson15、Lesson16：相関語句と接続詞系の注意点
14	Lesson19、Lesson20：図表問題の攻略について
15	Lesson21、Lesson22：複数の文章からなる問題の解き方
16	Lesson23、Lesson24：前後の流れから文章を読み取る
17	Lesson25、Lesson26：口語的なやり取りに慣れる
18	Lesson27：口語的なやり取り
19	総復習、 単位認定試験
20	弱点補強
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	指定された学習範囲を予習する（単語、語彙、文法、発音他）
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習範囲で「わからないところ」（間違えたところ）を自分で解き直す。その他の部分についても、次週の授業に備えて復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	はじめてのTOEIC® L&R テスト きほんのきほん 石井洋佑 (著), Karl Rosvold (著), Michael McDowell (著) ISBN-13: 978-4883197613
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	公益財団法人日本国際連合協会勤務。長年にわたり、語学関連の業務を担当し、年間を通じて出張による海外渡航多数あり。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10001

サービス接遇

Service skill

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

前

1

1

講義

花澤 徹

授業  
の  
概  
要

仕事に必要な不可欠な「サービス」の概念の理解と、「サービス」の適切・不適切を場面に応じて検討し、それぞれの理由を明確にしつつ共有することで、「サービス」に対する自分自身の考え方を構築させます。「サービス接遇検定試験2級」（6月受験）の全員合格を目標に、集中的に学習する科目です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	授業説明、検定試験の概要説明、Ⅰ サービススタッフの資質
2	Ⅰ サービススタッフの資質、Ⅱ 専門知識（商業用語・経済用語のプリント+小テスト）
3	Ⅲ 一般常識（常識問題のプリント+小テスト）、Ⅳ 対人技能（接遇用語のプリント+小テスト）
4	Ⅳ 対人技能（接遇用語のプリント+小テスト）
5	Ⅴ 実務技能（常識問題のプリント+小テスト）
6	総復習
7	過去問題の答案練習
8	過去問題の答案練習
9	サービス接遇検定2級試験、単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	指定された範囲のテキストを読み、自習する。
充当時間	30分程度
事後学習	学習した内容の復習を行い、指示された課題を行う（宿題）。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	サービス接客検定 2級公式テキスト（実務技能検定協会）、サービス接客検定 2級実問題集（第46回～第52回）（実務技能検定協会）
参考資料	その都度指定して、授業内で配布予定。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	20				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	20									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	浦安ブライトンホテル（現 浦安ブライトンホテル東京ベイ）で婚礼営業チーフとして婚礼営業及び宴会サービスを経験。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10031

時事・教養Ⅰ

Current affairs &amp; General educationⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ 部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ 部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ	なし	1	前	2	1	講義	サトウ ヒロヨシ 佐藤 博敬
---	----	---	---	---	---	----	-------------------

授 業 の 概 要	SPI3（Webテスト、テストセンター、ペーパーテスト、インハウスCBTなど）、玉手箱、SCOA、一般教養試験などに対応できるための基礎能力を養成する。主に小学校から高校までに学習してきた範囲・科目を中心に授業を実施。毎回ドリルを実施して「わかるところ」と「わからないところ」を明確に区別することを最大の目標とする。
-----------------------	--

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	自己紹介、授業説明、SPI3模擬試験 第1回
2	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」言語 対義語、二語の関係、漢字ドリルNo.1
3	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」言語 漢字、文章理解、漢字ドリルNo.2
4	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 分数・小数の計算、計算ドリルNo.1
5	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 四則の混合算、計算ドリルNo.2
6	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 割合、計算ドリルNo.3
7	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 比（の計算）、計算ドリルNo.4
8	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 推論、計算ドリルNo.5
9	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 料金計算、計算ドリルNo.6
10	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 平均の計算、計算ドリルNo.7
11	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 速さ・時間・距離、計算ドリルNo.8
12	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 流水算、通過算、計算ドリルNo.9
13	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 仕事算（+水槽算）、年齢算、計算ドリルNo.10
14	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 濃度算、計算ドリルNo.11
15	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 連立方程式、計算ドリルNo.12
16	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 集合、計算ドリルNo.13
17	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 表の読み取り、計算ドリルNo.14
18	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」非言語 順列・組合せ、確率、計算ドリルNo.15
19	総復習、単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	指定された「反転学習」プリントを自習する（数学・国語）
充当時間	約30分間程度
事後学習	学習範囲で印をつけた「わからないところ」（間違えたところ）を自分で解き直す。次週の小テスト対策に配布されたプリント類を自習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「就職試験サポートドリル」実務教育出版、220501（1904）、「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」実務教育出版
参考資料	反転学習用プリント（要提出）、課題プリント（提出不要）
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	10		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	5							○	○					○
5	課題の達成状況	5							○						
6	課題の提出状況	5							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）												○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10032

時事・教養Ⅱ

Current affairs &amp; General education Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ 部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ 部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ	なし	1	後	2	1	講義	サトウ ヒロヨシ 佐藤 博敬
---	----	---	---	---	---	----	-------------------

授 業 の 概 要	SPI3（Webテスト、テストセンター、ペーパーテスト、インハウスCBTなど）、玉手箱、SCOA、一般教養試験などに対応できる実力を養成する。主に多くの学生が苦手とする非言語分野（算数、数学）を中心に授業実施。最初と最後に模擬試験を実施して効果測定する。
-----------------------	---

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	言語分野 漢字、熟語、ことわざ SPI3模擬試験 第2回
2	「基礎からはじめる問題集」言語 対義語、二語の関係、漢字ドリルNo.1
3	「基礎からはじめる問題集」言語 熟語、語の用法、漢字ドリルNo.2
4	「基礎からはじめる問題集」非言語 分割払い、損益計算、漢字ドリルNo.3
5	「基礎からはじめる問題集」非言語 料金の割引、代金の精算（清算）、漢字ドリルNo.4
6	「基礎からはじめる問題集」非言語 速さ、通過算、流水算、漢字ドリルNo.5
7	「基礎からはじめる問題集」非言語 表の読み取り、漢字ドリルNo.6
8	「基礎からはじめる問題集」非言語 集計表、集合、漢字ドリルNo.7
9	「基礎からはじめる問題集」非言語 推論1（正誤）、漢字ドリルNo.8
10	「基礎からはじめる問題集」非言語 推論2（順位付け）、漢字ドリルNo.9
11	「基礎からはじめる問題集」非言語 推論3（内訳）、漢字ドリルNo.10
12	「基礎からはじめる問題集」非言語 推論4（人口密度・濃度・増加率）、漢字ドリルNo.11
13	「基礎からはじめる問題集」非言語 組合せ・確率、漢字ドリルNo.12
14	「基礎からはじめる問題集」非言語 物の流れと比率、漢字ドリルNo.13
15	「基礎からはじめる問題集」非言語 条件と領域、グラフの領域、漢字ドリルNo.14
16	「基礎からはじめる問題集」非言語 長文の読み取り、資料の読み取り、漢字ドリルNo.15
17	総復習
18	単位認定試験
19	単位認定試験問題 フィードバック
20	総復習 SPI3模擬試験 第3回
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	指定された「反転学習」プリントを自習する（数学・国語）
充当時間	約30分間程度
事後学習	学習範囲で印をつけた「わからないところ」（間違えたところ）を自分で解き直す。次週の小テスト対策に配布されたプリント類を自習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「SPI 基礎からはじめる問題集」実務教育出版、「2022最新版 史上最強SPI&テストセンター超実戦問題集」オフィス海編、ナツメ社
参考資料	反転学習用プリント（要提出）、課題プリント（提出不要）
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	10		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	5						○	○			○
5	課題の達成状況	5						○				
6	課題の提出状況	5						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）										○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10051

業界・企業研究

Industry research

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

後

1

1

講義

花澤 徹

授業  
の  
概  
要

就職活動の内定獲得の対策として、希望の業界の特色や将来性、成長性を調べたり、会社の仕事の内容や企業理念などの特色を研究します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	「就職活動における企業研究のポイント説明」、就職活動上の注意点、企業研究の方法、日本の企業の特徴など
2	業界・業種・職種の違い、業界について（「業界地図」、「会社四季報」などを使って業界を調べる）
3	業界・業種・職種の違い、業界について（「業界地図」、「会社四季報」などを使って業界を調べる）
4	業界・業種・職種の違い、業界について（マイナビなどのデータを活用して調べる）マイナビ2022登録など
5	各種データに基づく業界研究・企業研究（障がい者雇用、ダイバーシティ）
6	各種データに基づく業界研究・企業研究（福利厚生面、セルフキャリアドッグ）
7	各種データに基づく業界研究・企業研究（売上高、市場占有率、新規産業、異業種参入例など）
8	各種データに基づく業界研究・企業研究（売上高、市場占有率、新規産業、異業種参入例など）
9	各種データに基づく業界研究・企業研究、後期 単位認定試験（筆記試験）
10	各種データに基づく業界研究・企業研究、単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	「世界一わかりやすい 業界と業種がわかる&選ぶ本'21」イノウ著、ソシム刊、ISBN-13: 978-4802612197
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10061

グループワークⅠ

Group work Ⅰ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

前

2

1

実習

東郷 睦・西牧 秀行

授  
業  
の  
概  
要

グループワーク、グループディスカッション等を実施し、プレゼンテーション能力、チームワーク力等を習得することを  
目指します。また、働きと学業の両立は非常に困難であり、個人面談を適宜実施していく

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	今後の授業計画、達成度について。グループディスカッション、グループワークとは
2	グループディスカッション、グループワークの進行、ルールについて
3	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
4	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
5	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
6	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
7	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
8	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
9	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
10	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
11	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
12	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
13	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
14	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
15	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
16	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
17	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
18	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
19	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
20	単位認定試験（発表資料、レポート提出などを含め総合評価）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	1時間程度
使用テキスト	特になし
参考資料	特になし
参照データ	特になし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN10062

グループワークⅡ

Group work Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

後

2

1

実習

東郷 睦・西牧 秀行

授業  
の  
概  
要

グループワーク、グループディスカッション等を実施し、プレゼンテーション能力、チームワーク力等を習得することを  
目指します。また、働きと学業の両立は非常に困難であり、個人面談を適宜実施していく

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
2	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
3	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
4	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
5	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
6	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
7	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
8	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
9	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
10	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
11	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
12	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
13	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
14	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
15	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
16	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
17	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
18	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
19	グループワーク、グループディスカッションから発表 個人面談（適宜）
20	単位認定試験（発表資料、レポート提出などを含め総合評価）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	1時間程度
使用テキスト	特になし
参考資料	特になし
参照データ	特になし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20001

校外研修Ⅰ

Off-campus trainingⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

1

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

校外での学習機会を用意し、設定された授業科目に関連する知識を修得する。社会状況を勘案しながら、公共機関や民間施設などを利用し、各種セミナー、講演会、イベント、見学会、研修などを参加・受講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	事前学習（見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明）
2	研修（各研修先へ直行）
3	事後学習（レポート作成、提出）
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明
充当時間	1時間程度
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	1時間程度
使用テキスト	なし
参考資料	研修先によって資料を事前準備
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20002

校外研修Ⅱ

Off-campus trainingⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

1

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

校外での学習機会を用意し、設定された授業科目に関連する知識を修得する。社会状況を勘案しながら、公共機関や民間施設などを利用し、各種セミナー、講演会、イベント、見学会、研修などを参加・受講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	事前学習（見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明）
2	研修（各研修先へ直行）
3	事後学習（レポート作成、提出）
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明
充当時間	1時間程度
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	1時間程度
使用テキスト	なし
参考資料	研修先によって資料を事前準備
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20011

インターンシップⅠ

Internship I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、入社前研修から基礎研修（OFF-JTなど）、配属先決定、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学びます。学生社員として働くうえで必要な職場のマナーや基本ルールを身に付けます。また、職場の上司や先輩から指導を受けて、自分が担当する業務をマスターできるように学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	4月～5月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20012

インターンシップⅡ

Internship II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学びます。基本的な実務知識（業務内容の理解、担当業務の運営など）の修得を行うことが出来るように取り組みます。職場の上司や先輩から指導を受けた種々の業務を、トレーニングを積み重ねて自分の力で立ち回れるように学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	6月～7月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20013

インターンシップⅢ

InternshipⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

前

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学びます。実践的な実務知識（業務内容の理解、担当業務の運営など）の修得を行うことが出来るように取り組みます。次年度に後輩社員が入社した場合、適切に指導できるよう、職場における種々の業務を体系的に理解し、把握できるように学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	8月～9月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20014

インターンシップⅣ

InternshipⅣ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。実践的な実務知識（業務内容の理解、担当業務の運営など）の修得により、新入社員（在籍校の下級生を含む）に対し指導できるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	10月～11月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20015

インターンシップV

Internship V

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、新入社員（在籍校の下級生を含む）に対し模範となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	12月～1月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20016

インターンシップⅥ

InternshipⅥ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

後

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	2月～3月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20021

インターンシップⅦ

InternshipⅦ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)4月～5月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20022

インターンシップⅩ

InternshipⅧⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)6月～7月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20023

インターンシップⅩ

InternshipⅩ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

前

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)8月～9月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20024

インターンシップX

Internship X

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)10月～11月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20025

インターンシップXI

InternshipXI

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)12月～1月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20026

インターンシップⅡ

InternshipⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

1

実習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

提携先企業において、実務研修（OJTなど）を経験しながら、提携先企業の実務を学ぶ。発展的な実務知識（業務内容の改善、担当業務外への視野拡大など）の修得により、提携先企業の中核社員となるように取り組む。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列举できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	(2年)2月のインターンシップについてレポート作成提出
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	「月間レポート」の作成（月間目標、具体策等）
充当時間	約30分間程度
事後学習	「月間レポート」の作成（反省点、改善策等）
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	なし
参考資料	勤務先企業からの「月間レポート」返却
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	当該提携企業の職場の正社員が担当。
-----------------	-------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。  
週5日間は提携先企業において平均37.5時間のインターンシップ<sup>o</sup>（実習）を実施。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20031

資格検定試験対策ⅠA

Qualification exam preparation learningⅠA

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

1

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	





シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20032

資格検定試験対策ⅠB

Qualification exam preparation learningⅠB

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

1

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20033

資格検定試験対策Ⅱ

Qualification exam preparation learning Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20034

資格検定試験対策Ⅲ

Qualification exam preparation learningⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20035

資格検定試験対策Ⅳ

Qualification exam preparation learningⅣ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要	課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20036

資格検定試験対策V

Qualification exam preparation learning V

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20037

資格検定試験対策VI

Qualification exam preparation learningVI

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

1

通

2

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 1 0	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20041

資格検定試験対策VIIA

Qualification exam preparation learningVIIA

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科II部、事務・  
情報ビジネス学科II部、観光・ホテルビジ  
ネス学科II部、公務員学科II部

なし

2

通

1

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20042

資格検定試験対策VIIIB

Qualification exam preparation learningVIIIB

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科II部、事務・  
情報ビジネス学科II部、観光・ホテルビジ  
ネス学科II部、公務員学科II部

なし

2

通

1

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20043

資格検定試験対策VIII

Qualification exam preparation learningVIII

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科II部、事務・情報ビジネス学科II部、観光・ホテルビジネス学科II部、公務員学科II部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップI」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20044

資格検定試験対策IX

Qualification exam preparation learningIX

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20045

資格検定試験対策Ⅹ

Qualification exam preparation learning X

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授業の概要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅩⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20046

資格検定試験対策XI

Qualification exam preparation learningXI

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

2

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップⅡ」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
11	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
12	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
13	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
14	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
15	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
16	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
17	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
18	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
19	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
20	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN20047

資格検定試験対策XII

Qualification exam preparation learningXII

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

通

1

1

演習

各科目担当者

授  
業  
の  
概  
要

課外科目【選択A・企業実習】における「インターンシップⅠ」から「インターンシップXII」を選択しない学生に対して実施するビジネス系選択科目です。各種資格の取得や検定試験合格を目標とし、実社会で役立つよう実力養成を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目の学習内容、学習方法の説明等
2	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
3	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
4	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
5	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
6	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
7	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
8	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
9	各科目の学習（指定教材を使用）、問題演習、過去問題演習、適宜映像教材も併用。
10	単位認定試験（適宜、学習科目に該当する資格検定試験の受検も行う）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	特になし
充当時間	特になし
事後学習	学習内容の振り返り、指定された学習用参考資料の閲覧等
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	各科目担当者の指示による
参考資料	特になし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○					○			○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○					○		○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○			○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○			○
6	課題の提出状況	10						○	○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30031

観光実務Ⅰ

Tour OperationⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

前

2

2

講義

花澤 徹

授業の概要

観光業界のスタッフが身に付けておきたい海外・国内の観光地理の知識を学びます。「世界遺産検定」3級資格取得を目指し、海外からのお客様に説明できるよう、日本の歴史・文化も学びます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	世界遺産検定オリエン及び基礎力確認テスト（4級問題）
2	日本の世界遺産1（2-1～2-5）
3	日本の世界遺産2（2-6～2-10）
4	日本の世界遺産3（2-11～2-15）
5	人類の誕生と古代文明1
6	アジア世界の形成と宗教
7	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代/アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動
8	近代国家の成立と世界の近代化/テーマで見る世界遺産
9	世界の自然遺産/日本の世界遺産（総復習）
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト<第2版>、マイナビ出版; 第2版 (2019/3/20)、ISBN-13: 978-4839968786
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	20				○				○					
3	ミニテストの得点	10		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30032

観光実務Ⅱ

Tour OperationⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科Ⅱ部

なし

1

後

1

1

講義

花澤 徹

授業の概要

観光業界で重要視される「おもてなし・ホスピタリティ」を「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネーター」試験の学習を通して学びます。この授業では知識だけではなく、ルールプレイを通して総合的に学びます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	シラバス配布、AHC資格説明、AHC保持者のキャリアプラン、第1章
2	第2章 ホスピタリティの歴史と文化 企業研究「加賀屋」+課題
3	第3章 サービスとホスピタリティの語源、第4章 ホスピタリティの定義
4	第5章 ホスピタリティの5領域 企業研究「ひらまつ」（レストラン）+課題
5	第6章 組織と顧客のホスピタリティ 企業研究「クラブツーリズム」（旅行会社）+課題
6	企業研究「ばんどう太郎」（ファミリーレストラン）+課題
7	企業研究「ロイヤルホスト」（ファミリーレストラン）+課題
8	企業研究「四季倶楽部」+課題
9	AHC筆記試験 直前対策（模擬問題集）
10	課題作成、提出（兼 単位認定試験）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	「JHMA認定 ホスピタリティ・コーディネータ教本」（日本ホスピタリティ推進協会）、 「ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト基礎」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○							○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○				
3	ミニテストの得点	20		○	○	○								
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○				○
5	課題の達成状況	0							○					
6	課題の提出状況	0							○					
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5										○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5									○			
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30001

ホテル実務Ⅰ

Hotel Management&amp;Service operationⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

前

2

2

講義

花澤 徹

授業の概要

ホテルのスタッフとして必要なホテルの概要・歴史から、宿泊・料飲・宴会・調理の基礎知識まで、ビジネス全般に必要な「総務・人事」「経理・会計」「広報・マーケティング」の実務を学びます。「ホテルビジネス実務検定」ベーシックレベル1級合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ホテルビジネス実務検定試験についての説明、第1章 ホテルの基礎P8.~P20
2	第1章 ホテルの基礎 P21~P31
3	第2章 宿泊部門の業務 P58~P85
4	第3章 料飲部門の業務 P105~P121 +料理解説+飲料解説+ロールプレイング（サービス実技）
5	第4章 宴会部門の業務 P126~P151+映像、ロールプレイング（サービス実技）
6	確認試験1
7	確認試験2
8	確認試験3
9	総復習
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト 基礎編（日本ホテル教育センター）
参考資料	「週刊ホテルレストラン」（オータパブリケーションズ）、「ゼクシィ」（リクルート）、
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネーター技能士」資格取得。
-----------------	---

備考	
----	--



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30002

ホテル実務Ⅱ

Hotel Management&amp;Service operationⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科Ⅱ部

なし

1

前

2

2

講義

花澤 徹

授業の概要

ホテルのスタッフとして必要なホテルの概要・歴史から、宿泊・料飲・宴会・調理の基礎知識まで、ビジネス全般に必要な「総務・人事」「経理・会計」「広報・マーケティング」の実務を学びます。「ホテルビジネス実務検定」ベーシックレベル1級合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第5章 調理部門の業務 P156～P182
2	第6章 マーケティング部門 その1 マーケティング部門 その2/該当過去問演習
3	第7章 総務・人事部門 第8章施設管理部門 その1、その2/該当過去問演習
4	第9章 仕入・購買部門
5	第10章 経理・会計部門
6	確認試験1
7	確認試験2
8	確認試験3
9	総復習
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト 基礎編（日本ホテル教育センター）
参考資料	「週刊ホテルレストラン」（オータパブリケーションズ）、「ゼクシィ」（リクルート）、
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネーター技能士」資格取得。
-----------------	---

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30003

ホテル実務Ⅲ

Hotel Management&amp;Service operationⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科Ⅱ部

なし

1

後

1

2

講義

花澤 徹

授業の概要

「ホテル実務Ⅰ」「ホテル実務Ⅱ」で学習した内容の総復習です。主に、ホテルのスタッフとして必要なホテルの概要・歴史から、宿泊・料飲・宴会・調理の基礎知識まで、ビジネス全般に必要な「総務・人事」「経理・会計」「広報・マーケティング」の実務を学びます。「ホテルビジネス実務検定」ベーシックレベル1級合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習1
2	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習2
3	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習3
4	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習4
5	単位認定試験
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト 基礎編（日本ホテル教育センター）
参考資料	「週刊ホテルレストラン」（オータパブリケーションズ）、「ゼクシィ」（リクルート）、
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネーター技能士」資格取得。
-----------------	---

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30004

ホテル実務IV

Hotel Management&amp;Service operationIV

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

2

後

1

2

講義

花澤 徹

授業の概要  
1年次に「ホテル実務Ⅰ」「ホテル実務Ⅱ」で学習した内容の総復習です。主に再度「ホテルビジネス実務検定試験」を受験する方向けの授業です。内容としては、ホテルのスタッフとして必要なホテルの概要・歴史から、宿泊・料飲・宴会・調理の基礎知識まで、ビジネス全般に必要な「総務・人事」「経理・会計」「広報・マーケティング」の実務を学びます。「ホテルビジネス実務検定」ベーシックレベル1級合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習5
2	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習6
3	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習7
4	ホテルビジネス実務検定 過去問題 総合演習8
5	単位認定試験
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト 基礎編（日本ホテル教育センター）
参考資料	「週刊ホテルレストラン」（オータパブリケーションズ）、「ゼクシィ」（リクルート）、
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネーター技能士」資格取得。
-----------------	---

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30034

旅行実務

Tour Planning

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

後

1

1

演習

山口 美由紀

授業の概要

観光業界スタッフが身に付けておきたい国内旅行を企画する実務を学びます。国内の時刻表等を使用し、旅行の企画立案を行い、旅行の行程表や見積書や企画書を作成してプレゼンを実施します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	旅行企画の作成上の注意点
2	既存の旅行企画等の調査検討①
3	既存の旅行企画等の調査検討②
4	既存の旅行企画等の調査検討③
5	既存の旅行企画等の調査結果発表
6	旅行約款の解説①
7	旅行約款の解説②
8	各種交通機関運賃計算等について
9	旅行企画書作成作業 1~3
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	なし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手旅行会社の添乗員として活躍中。2019年度の添乗員最優秀アワード受賞。
-----------------	---------------------------------------

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30011

F&amp;BオペレーションⅠ

Food &amp; Beverage operation I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

後

1

2

実習

宮澤 裕城

授業の概要

ホテル・ブライダルのスタッフに必要な実務知識を、実習を通じて学ぶことにより、現場で即戦力として仕事ができる力を身につけます。実習Ⅰでは、料飲サービスの業務内容を理解して業務の基本的な流れを学習します。また収益性の高いブライダルビジネスを学び、模擬披露宴の実習も行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	オリエンテーション：授業の意義目的と概要説明/接客の基本動作と食材、料飲等の基礎知識を身につける
2	トレイサービスの基本を身につける：トレイの扱い方の基本とテクニックを身につける
3	プレートサービスの基本を身につける：プレートサービスの基本とテクニックを身につける
4	ドリンクサービス：ボトルサービスの基本 サーバーの使い方：サーバーの扱い方
5	単位認定試験
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30時間
使用テキスト	「基礎からわかるレストランサービス スタンドマニュアル」日本ホテル・レストランサービス技能協会監修、ISBN：978-4-7863-1146-8
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<p><u>ホテルパシフィック東京等多くのホテルで料飲部門をはじめマネジメント行う。労働大臣認定料飲サービス士1級（西洋料理部門）、国家技能士1級レストランサービス技能士。日本ホテルレストランサービス技能協会テーブルマナー委員会副委員長。</u></p>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30012

F&amp;BオペレーションⅡ

Food &amp; Beverage operation II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

後

2

2

実習

宮澤 裕城

授業の概要

1年次に引き続き、ホテル・レストラン業界で即戦力となるため、飲料サービスの知識とサービス技能をしっかりと身につけます。また、レストランサービス技能検定3級（国家検定：厚生労働大臣認定）合格に向けて、検定に準拠した実習を行います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ブライダルの基礎：挙式（キリスト教、神前式、仏前式、人前式） テーマ・役割決め、披露宴、海外ウェディング、2次会と制作物の確認
2	コーディネーター業務：新規から成約まで
3	クリスマス・イベント準備：クリスマス会準備（役割・リハーサル）
4	打合せ業務：コーディネート、衣装選定 ブライダルアイテムの選定：ブーケ、ヘアメイク、会場コーディネート
5	手配業務：ペーパーアイテム手配、衣装ヘアメイク、着付け、演出手配、引き出物手配、記録、記念アイテム手配、装花手配
6	（上級レベル）コーディネーター業務：新規、仮予約、成約（内金）会場仮押さえ、招待状関係
7	（上級レベル）コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定：ブーケ、ヘアメイク、演出、引き出物、記録
8	模擬挙式・披露宴準備 各種打ち合わせ作業
9	模擬挙式・披露宴
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30時間
使用テキスト	「基礎からわかるレストランサービス スタンドマニュアル」日本ホテル・レストランサービス技能協会監修、ISBN：978-4-7863-1146-8
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○							○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○				
3	ミニテストの得点	20		○	○	○								
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○				○
5	課題の達成状況	0							○					
6	課題の提出状況	0							○					
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5										○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5									○			
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	ホテルパシフィック東京等多くのホテルで料飲部門をはじめマネジメント行う。労働大臣認定料飲サービス士1級（西洋料理部門）、国家技能士1級レストランサービス技能士。日本ホテルレストランサービス技能協会テーブルマナー委員会副委員長。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30013

F&amp;BオペレーションⅢ

Food &amp; Beverage operationⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科Ⅱ部

なし

2

前

2

2

実習

宮澤 裕城

授業の概要

実習Ⅱに引き続き、前半はレストランサービス技能検定3級（国家検定：厚生労働大臣認定）合格に向けて、実技試験対策を中心に、ロールプレイングを行います。後半は、今までの実習で身につけた飲料サービス技能により磨きをかけ、ホテル・レストラン業界で即戦力として活躍できる技能を定着させます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	オリエンテーション：授業の意義目的説明/接客の基本動作と食材、料飲等の基礎知識を身につける。
2	HRS3級学科対策「料飲接客サービス技法」第1章①P1-32「食材・料飲の基礎知識を身につける」
3	第2章p81-97「宴会・レストランにおける各種サービスを理解する」
4	第3章p98-109「レストランの準備、組織を理解する」「客席案内、注文、テーブルサービスを理解する」
5	第4章p140-168「メニュー管理、国際慣習、食文化を理解する」第5・6章p169-194「食品衛生、食中毒の知識を身につける」
6	第7章①p195-215「食品衛生、公衆衛生の知識を身につける」第8書p227-257「安全衛生の基礎知識を身につける」
7	HRS3級学科試験対策3 平成30年 技能検定学科試験問題（解答と解説）
8	HRS3級学科試験対策4 令和1年 技能検定学科試験問題（解答と解説）
9	HRS3級学科試験対策5 学科試験問題（解答と解説）合格のための解答テクニック
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30時間
使用テキスト	「基礎からわかるレストランサービス スタンドマニュアル」日本ホテル・レストランサービス技能協会監修、ISBN：978-4-7863-1146-8
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	ホテルパシフィック東京等多くのホテルで料飲部門をはじめマネジメント行う。労働大臣認定料飲サービス士1級（西洋料理部門）、国家技能士1級レストランサービス技能士。日本ホテルレストランサービス技能協会テーブルマナー委員会副委員長。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30014

F&amp;BオペレーションⅣ

Food &amp; Beverage operationⅣ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科Ⅱ部

なし

2

後

2

2

実習

宮澤 裕城

授業の概要

実習Ⅱに引き続き、前半はレストランサービス技能検定3級（国家検定：厚生労働大臣認定）合格に向けて、実技試験対策を中心に、ロールプレイングを行います。後半は、今までの実習で身につけた飲料サービス技能により磨きをかけ、ホテル・レストラン業界で即戦力として活躍できる技能を定着させます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	オリエンテーション 授業の意義目的と概要説明
2	HRS3級 実技試験対策 各国の料理①日本料理とマナーを理解する
3	HRS3級 実技試験対策 各国の料理②日本料理とマナーを理解する
4	HRS3級 実技試験対策 各国の料理②中国料理とマナーを理解する
5	HRS3級 実技試験対策 各国の料理②中国料理とマナーを理解する
6	HRS3級 実技試験対策 計数管理について、店舗運営について理解する
7	HRS3級 実技試験対策 実技試験対策 実技チェック1
8	HRS3級 実技試験対策 実技試験対策 実技チェック2
9	HRS3級 実技試験対策 実技試験対策 実技チェック3
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30時間
使用テキスト	「基礎からわかるレストランサービス スタンドマニュアル」日本ホテル・レストランサービス技能協会監修、ISBN：978-4-7863-1146-8
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	ホテルパシフィック東京等多くのホテルで料飲部門をはじめマネジメント行う。労働大臣認定料飲サービス士1級（西洋料理部門）、国家技能士1級レストランサービス技能士。日本ホテルレストランサービス技能協会テーブルマナー委員会副委員長。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30015

F&amp;BオペレーションV

Food &amp; Beverage operation V

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

2

後

1

2

実習

宮澤 裕城

授業の概要	実習IIに引き続き、前半はレストランサービス技能検定3級（国家検定：厚生労働大臣認定）合格に向けて、実技試験対策を中心に、ロールプレイングを行います。後半は、今までの実習で身につけた飲料サービス技能により磨きをかけ、ホテル・レストラン業界で即戦力として活躍できる技能を定着させます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	ゲリドンサービス ワインの栓抜とデカンタージュ
2	ゲリドンサービス1 ワインの栓抜とデカンタージュ
3	4ステアとシェーク ノンアルコールカクテル、クリスマス会～フルールカットの実演～
4	バナナ・フランベ ワインのサービス（試験）
5	単位認定試験
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30時間
使用テキスト	「基礎からわかるレストランサービス スタンドマニュアル」日本ホテル・レストランサービス技能協会監修、ISBN：978-4-7863-1146-8
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	ホテルパシフィック東京等多くのホテルで料飲部門をはじめマネジメント行う。労働大臣認定料飲サービス士1級（西洋料理部門）、国家技能士1級レストランサービス技能士。日本ホテルレストランサービス技能協会テーブルマナー委員会副委員長。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30021

ブライダルオペレーションⅠ

Bridal service operatiponⅠ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

2

前

2

1

講義

花澤 徹

授業の概要

ブライダルスタッフ（ブライダルコーディネーター）として必要なホテルの実務を学びます。国家資格「ブライダルコーディネーター技能士」3級の合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	Lesson1 結婚とは 第1章～第3章
2	Lesson1 結婚とは 第1章～第3章
3	Lesson1 結婚とは 第1章～第3章
4	Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章
5	Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章
6	Lesson3 ブライダルの基礎 第1章～第3章
7	Lesson3 ブライダルの基礎 第1章～第3章
8	Lesson3 ブライダルの基礎 第1章～第3章
9	Lesson3 ブライダルの基礎 第4章
10	Lesson3 ブライダルの基礎 第4章
11	Lesson3 ブライダルの基礎 第5章
12	Lesson3 ブライダルの基礎 第5章
13	Lesson3 ブライダルの基礎 第6章～第7章
14	Lesson3 ブライダルの基礎 第6章～第7章
15	Lesson4 コーディネーター業務 プランニング
16	Lesson4 コーディネーター業務 プランニング
17	Lesson4 コーディネーター業務 プランニング
18	Lesson4 コーディネーター業務 プランニング
19	Lesson4 コーディネーター業務 プランニング
20	単位認定試験
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	「アシスタント・ブライダル・コーディネータ」テキスト、BIA
参考資料	「ゼクシィ」（リクルート）他
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	30		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネータ技能士」資格取得。
-----------------	--

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30022

ブライダルオペレーションⅡ

Bridal service operatipon II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

2

前

2

1

講義

花澤 徹

授業の概要

ブライダルスタッフ（ブライダルコーディネーター）として必要なホテルの実務を学びます。国家資格「ブライダルコーディネーター技能士」3級の合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章
2	Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章
3	Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章
4	Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章
5	Lesson2 ブライダルビジネス 第4章～第6章
6	Lesson2 ブライダルビジネス 第4章～第6章
7	Lesson3 ブライダルの基礎
8	Lesson3 ブライダルの基礎
9	Lesson4 コーディネーター業務
10	Lesson4 コーディネーター業務
11	Lesson4 コーディネーター業務
12	Lesson5 打合せ業務、Lesson6 コンセプトに基づいたブライダルアイテムの選定
13	Lesson7 手配業務
14	Lesson7 手配業務
15	Lesson7 手配業務
16	Lesson7 手配業務
17	Lesson8 当日業務
18	Lesson8 当日業務
19	Lesson8 当日業務
20	単位認定試験
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	「アシスタント・ブライダル・コーディネータ」テキスト、BIA
参考資料	「ゼクシィ」（リクルート）他
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	30		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネータ技能士」資格取得。
-----------------	--

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30023

ブライダルオペレーションⅢ

Bridal service operatiponⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科Ⅱ部

なし

2

後

1

1

講義

花澤 徹

授業の概要

ブライダルスタッフ（ブライダルコーディネーター）として必要なホテルの実務を学びます。国家資格「ブライダルコーディネーター技能士」3級の合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（筆記試験）答案練習
2	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（筆記試験）答案練習
3	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（筆記試験）答案練習
4	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（筆記試験）答案練習
5	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（実技試験）映像視聴・答案練習
6	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（実技試験）映像視聴・答案練習
7	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題（実技試験）映像視聴・答案練習
8	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題 答案練習
9	「ブライダル・コーディネーター技能士」過去問題 答案練習
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	「アシスタント・ブライダル・コーディネータ」テキスト、BIA
参考資料	「ゼクシィ」（リクルート）他
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	30		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネータ技能士」資格取得。
-----------------	--

備考	
----	--



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30008

フロントオペレーション

Front service operation

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

前

1

1

講義

花澤 徹

授業の概要

ホテルのフロントスタッフとして必要なホテルの実務を学びます。「ホテルビジネス実務検定」ベーシックレベル1級合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第2章 宿泊部門の業務 P58～P85 説明
2	第2章 宿泊部門の業務 P58～P85 説明
3	リザーベーション業務（ロールプレイング形式）
4	リザーベーション業務（ロールプレイング形式）
5	チェックイン・チェックアウト業務（ロールプレイング形式）
6	チェックイン・チェックアウト業務（ロールプレイング形式）
7	ハウスキーピング業務（一部ロールプレイング）
8	ハウスキーピング業務（一部ロールプレイング）
9	イレギュラー対応（Goshow、Noshow、UG、Skipper、Roomchange、その他）
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト 基礎編（日本ホテル教育センター）
参考資料	「週刊ホテルレストラン」（オータパブリケーションズ）
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	30		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネーター技能士」資格取得。
-----------------	---

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222DHN30018

宴会オペレーション

Banquet service operation

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス 学科II部

なし

1

前

1

1

講義

花澤 徹

授業の概要

ホテルの宴会スタッフとして必要なホテルの実務を学びます。「ホテルビジネス実務検定」ベーシックレベル1級合格を目指します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にサービス・マネジメント両能力を発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	第4章 宴会部門の業務 P126～P151+映像、ロールプレイング（サービス実技）
2	クロス、テーブル配置、セッティング（ロールプレイング）
3	セッティング（シルバー一式）
4	宴会サービス（カナッペ～メイン）
5	宴会サービス（カナッペ～ドリンク）
6	ワインサービス、ドリンクサービス
7	ワインサービス、ドリンクサービス
8	総復習（ロールプレイングでテスト）
9	イレギュラー対応（席間違い、ぶっかけ、サービスミス、その他）
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ホテルビジネス ベーシックレベルテキスト 基礎編（日本ホテル教育センター）
参考資料	「週刊ホテルレストラン」（オータパブリケーションズ）
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○					○				
3	ミニテストの得点	30		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。日本ソムリエ協会正会員。「3級ブライダルコーディネーター技能士」資格取得。
-----------------	---

備考	
----	--

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30071

プレゼンテーション演習

Group work I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

2

後

1

1

演習

山崎 好乃

授 業 の 概 要	マイクロソフト社のプレゼンテーションソフトであるPowerPoint2019を使用して、「卒業論文」を作成・発表するためのスキルを習得します。
-----------------------	---

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	PowerPointの使い方、資料作成の方法と計画、作成上の注意点、発表会について
2	プレゼンテーション資料作成指導1
3	プレゼンテーション資料作成指導2
4	プレゼンテーション資料作成指導3
5	プレゼンテーション資料作成指導4
6	プレゼンテーション資料作成指導5
7	プレゼンテーション資料作成指導6
8	プレゼンテーション資料作成指導7
9	プレゼンテーション資料作成指導8
10	プレゼンテーション発表会（兼 単位認定試験）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	特になし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	20						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9	課題発表会の発表内容	60	○	○	○	○	○					○
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30051

卒業研究

Graduation production

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

2

後

2

2

演習

東郷 睦

授  
業  
の  
概  
要

各自が設定したテーマに従って研究し、論文を完成させます。テーマの設定にあたっては、卒業後の進路に関する研究を基本とします。それ以外では、学科の特性に即したものと現在働いている業界・企業に関するものとします。テーマに基づいた章立てと項目立て、データの収集とまとめ、MOS-Wordでの入力作業、校正を進めます。発表はPowerPoint資料を作成して実施します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎概念を区分できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	卒業研究についてガイダンス・論文の書式、構成方法等説明。各種提出期限の案内
2	研究テーマについて「卒業論文概要書」の作成
3	「卒業研究論文概要書」提出期限。未提出者へのフォロー
4	個々への助言・指導。「概要書」未提出者へのフォロー
5	個々への助言・指導
6	各自による 第1回中間発表、個別作業
7	個々への助言・指導
8	個々への助言・指導
9	個々への助言・指導
10	各自による 第2回中間発表（単位認定試験）
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	文献、資料等の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎に訂正事項、参考資料の読み返し、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	なし
参考資料	各種データベース、論文集、図書館等
参照データ	CiNii Articles、CiNii Books、J-STAGE、JAIRO、Google Scholar、PLOS、PubMed、IEEE Xplore®Digital Library、国立国会図書館サーチ、カーリル、各大学・大学院機関リポジトリ、各省庁HP等

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	20						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9	課題の完成度、内容、形式等	60										
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30061

スキルアップ講座Ⅰ  
(B検ジョブパス2級対策)

Skill up studies Ⅰ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・  
情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジ  
ネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部

なし

2

後

2

1

講義

花澤 徹

授  
業  
の  
概  
要

新社会人・職業人としての心構え、基礎能力を「ビジネス能力検定2級（B検ジョブパス2級）」問題の解答解説を通じて身につけることを目的とします。カリキュラムの都合上、公務員学科Ⅱ部を除いて、「B検2級」を全員受験します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	科目内容の説明、概要
2	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ キャリアと仕事へのアプローチ
3	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 会社活動の基本
4	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 話し方と聞き方
5	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 接客と営業の進め方
6	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 不満を信頼に変えるクレーム対応
7	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ 会議への出席とプレゼンテーション
8	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・ チームワークと人のネットワーク
9	仕事の実践とビジネスツール・ 仕事の進め方
10	仕事の実践とビジネスツール・ ビジネス文書の基本
11	仕事の実践とビジネスツール・ 統計・データの読み方、まとめ方
12	仕事の実践とビジネスツール・ 情報収集とメディアの活用
13	仕事の実践とビジネスツール・ 会社数字の読み方
14	仕事の実践とビジネスツール・ ビジネス文書の基本と法律・税金知識
15	仕事の実践とビジネスツール・ 産業と経済の基礎知識
16	仕事の実践とビジネスツール・ 産業と経済の基礎知識2
17	社会で活躍するために必要な知識1
18	社会で活躍するために必要な知識2
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック、総復習
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 問題集及び公式テキスト（コピー）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	30	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	30				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	40									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

」

備考	<p>夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。                  1日のコマ数は最大2コマ。スキルアップ講座は「スキルアップ講座Ⅰ（P検3級対策）」と「スキルアップ講座Ⅱ（B検2級対策）」。</p>
----	---

シラバスNo.

授業科目名（英語）

222BDN30062

スキルアップ講座Ⅱ（P検3級対策）

Skill up studiesⅡ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部

なし

2

後

2

1

講義

岩野 桂子

授業の概要

P検（ICT プロフィシエンシーアセスメント）3級の受検を目標とした授業です。情報通信のリテラシー学習をはじめとし、倫理規定の徹底をもとに各種課題をPBL演習型で学習します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	授業計画（授業の具体的な実施内容）説明、情報モラルと情報セキュリティ+課題
2	情報モラルと情報セキュリティ+課題
3	情報モラルと情報セキュリティ+課題
4	Lesson1<実技>ワープロ+課題
5	Lesson1<実技>ワープロ+課題
6	Lesson2<実技>表計算+課題
7	Lesson2<実技>表計算+課題
8	Lesson3<一般問題>コンピュータ知識
9	Lesson3<一般問題>コンピュータ知識
10	Lesson4<一般問題>情報通信ネットワーク+課題
11	Lesson4<一般問題>情報通信ネットワーク+課題
12	Lesson4<一般問題>情報通信ネットワーク+課題
13	Lesson6<一般問題>ICTを活用した問題解決+課題
14	Lesson6<一般問題>ICTを活用した問題解決+課題
15	各種PBL演習（課題解決型の演習）①
16	各種PBL演習（課題解決型の演習）②
17	各種PBL演習（課題解決型の演習）③
18	各種PBL演習（課題解決型の演習）④
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に30分程度
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、課題提出等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	P検公式テキスト「P検」3級テキスト ISBN978-4-9906465-3-0
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	(有)・無	
再試験	(有)・無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	<p><u>大手電機機器メーカーに長年勤務し、コンピュータの開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。</u></p>
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。コマ数は最大2コマ。  
スキルアップ講座はビジネス実務と手話がセットで1科目。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

222BDN30063	スキルアップ講座Ⅲ (B検ジョブパス2級対策)	Skill up studies I
-------------	----------------------------	--------------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部	なし	2	後	1	1	講義	花澤 徹

授業概要	新社会人・職業人としての心構え、基礎能力を「ビジネス能力検定2級（B検ジョブパス2級）」問題の解答解説を通じて身につけることを目的とします。カリキュラムの都合上、公務員学科Ⅱ部を除いて、「B検2級」を全員受験します。この授業は再履修科目です。
------	---

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	科目内容の説明、概要
2	ビジネスとコミュニケーションの基本
3	ビジネスとコミュニケーションの基本
4	ビジネスとコミュニケーションの基本
5	仕事の実践とビジネスツール
6	仕事の実践とビジネスツール
7	仕事の実践とビジネスツール
8	社会で活躍するために必要な知識1・2
9	単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック、総復習
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 問題集及び公式テキスト（コピー）
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	30	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	30				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	40									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

」

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。

1

日のコマ数は最大2コマ。スキルアップ講座は「スキルアップ講座Ⅰ（P検3級対策）」と「スキルアップ講座Ⅱ（B検2級対策）」。

シラバスNo.

授業科目名（英語）

222BDN30064	スキルアップ講座Ⅳ（P検3級対策）	Skill up studies II
-------------	-------------------	---------------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
経営・ショップビジネス学科Ⅱ部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部、公務員学科Ⅱ部	なし	2	後	1	1	講義	岩野 桂子

授業の概要	P検（ICT プロフィシエンシーアセスメント）3級の受検を目標とした授業です。情報通信のリテラシー学習をはじめとし、倫理規定の徹底をもとに各種課題をPBL演習型式で学習します。この授業は再履修科目です。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎概念を区分できる。	○	○	○			
目標2	科目毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				○
目標4	単元毎に設定された基本事項を理解できる。		○				○
目標5	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○		○		
目標7	検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。				○		○

週数	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	授業計画（授業の具体的な実施内容）説明、情報モラルと情報セキュリティ+課題
2	情報モラルと情報セキュリティ+課題
3	Lesson 1 <実技>ワープロ+課題
4	Lesson 2 <実技>表計算+課題
5	Lesson 3 <一般問題>コンピュータ知識
6	Lesson 4 <一般問題>情報通信ネットワーク+課題
7	各種PBL演習（課題解決型の演習）③
8	各種PBL演習（課題解決型の演習）④
9	単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に30分程度
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、課題提出等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	P検公式テキスト「P検」3級テキスト ISBN978-4-9906465-3-0
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーに長年勤務し、コンピュータの開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。コマ数は最大2コマ。  
スキルアップ講座はビジネス実務と手話がセットで1科目。



シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220BDN30011

経営学

Basic Business Administration

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

前

1

1

講義

戸田 江里子

授業  
の  
概  
要

企業経営に必要な「企業システム」「経営戦略」「経営組織」「経営課題」等の基礎知識を全般的に学習し、企業を経営する上での経営者としての知識と、その企業で働く立場として必要な知識を学習する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ガイダンス、授業概要の説明、成績評価の方法、chapter1 経営学のギモン、chapter2 企業のギモン
2	chapter3 経営戦略のギモン①
3	chapter4 経営戦略のギモン②
4	chapter5 マーケティングのギモン
5	chapter6 ビジネスモデルのギモン
6	chapter7 生産管理のギモン
7	chapter8 組織のギモン
8	chapter9 金融・ファイナンスのギモン
9	総まとめ、単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	経営学見るだけノート 宝島社刊 ISBN978-4-8002-7479-3
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

220BDN30012

経済学

Basic Economics

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

経営・ショップビジネス学科Ⅱ  
部、事務・情報ビジネス学科Ⅱ  
部、観光・ホテルビジネス学科Ⅱ

なし

1

後

1

1

講義

戸田 江里子

授業  
の  
概  
要

毎日の生活上、必要不可欠な経済活動を様々な側面から学習し、「経済学」の全容を明らかにして行きます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	経営者としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 1 0	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

週数

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	ガイダンス、授業概要の説明、成績評価の方法、chapter 1 身の回りにある経済学
2	chapter 2 企業にまつわる経済学
3	chapter 3 市場にまつわる経済学
4	chapter 4 経済成長の仕組みって何？
5	chapter 5 お金と金融にまつわる経済学
6	chapter 6 グローバルな経済の仕組みが知りたい
7	chapter 7 政治と経済の関係とは？
8	chapter 8 最近話題の行動経済学って何？
9	総まとめ、単位認定試験
10	単位認定試験のフィードバック
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分間
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	経済学見るだけノート 宝島社刊 ISBN978-4-8002-8285-9
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況							○	○			○
5	課題の達成状況							○				
6	課題の提出状況							○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。